



市の花
なのはな



市の木
さくら



市の鳥
ひばり

つくばみらいの

学 校 紹 介



～小絹中学校～

第14回



本校は、つくばみらい市の西端、守谷市と隣接したふれあい道路沿いに位置し、開校15年目のはつらつと成長しつつある学校です。学区は、鬼怒川・小貝川の2大河川に挟まれ自然にも恵まれた地域です。谷和原IC・小絹駅もすぐ近くにあり、鉄道および道路など交通の便が大変良い所でもあります。小絹駅周辺は常総ニュータウン開発が進められ、平成2年から入居が始まり人口が急増しました。その中にある市施設の小絹コミュニティセンター・運動公園などは、生徒の主体的活動や体験的活動の場として活用しています。生徒の約70%は、住宅団地（絹の台団地、西ノ台団地、小絹地区）から通学しており、現在295人の生徒は、素直で明るく知的好奇心も旺盛で、学習や部活動に熱心に励んでいます。全国各地から転入された保護者の方々は価値観も多様であり、学校に対する期待も大きく、PTAや地域の方々との連携を図りながら、地域に根ざした信頼される学校づくりを目指しています。



本校の歴史をひもといてみると、実は現在の小絹中学校創立以前にもこの地に小絹中学校がありました。教育基本法が公布され六・三制の新学制制度ができた昭和22年の4月15日に小絹村立小絹中学校として認可され、小絹小学校の教室を借用し授業が始まったとのことです。それから昭和45年4月に城山中学校とともに谷和原中学校に統合されるまで、初代の小絹中学校は24年間の歴史を刻み多くの卒業生を送り出しました。その後、生徒数の増加により平成6年4月に谷和原中学校から再び分離し現在の小絹中学校に至っています。

本校の校訓「**進んで学び、働き、鍛えよう**」は初代校長の豊嶋隆一先生（現市教育長）が新しい次代を担う生徒の育成を目指して制定していただきました。校風・伝統として引き継がれてきた校訓を基に、学校教育目標である「**すぐれた品性と豊かな知性のある、心身ともにたくましい生徒を育成する**」を具現化するために、生徒と教職員が一丸となって日々取り組んでいます。

学級数は、各学年とも3クラスで特別支援のすずらん・コスモスの2学級と合わせて全11クラスです。学習はもちろん、文武両道の精神で1年生から3年生までほとんどの生徒が加入している部活動は、野球部・サッカー部・男女ソフトテニス部・剣道部・男女卓球部・女子バレーボール部・男女バスケットボール部・吹奏楽部・美術部の合計12の部があります。昨年度末には卓球部が関東大会・全国大会に出場するなど、各部活動が多方面で活躍しています。5月28日に行われた「つくばみらい市中学校陸上競技大会」では、男子の部、女子の部、総合で完全優勝をし、総合の部での7連覇を果たすことができました。



また、昨年度末には青少年健全育成茨城県推進大会において、ボランティア委員会が地域の清掃など日頃の活動に対して表彰されるなど、生徒会が中心となり、学校全体でのマナーアップやボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

生徒・教職員の創造力と想像力を生かし、「**創意と活力に満ちた文化の薫り高い楽しい学校**」を目指して活動している様子は、学校ホームページにも掲載していますのでご覧になってください。これからも一層のご支援・ご協力をお願いします。

☆小絹中学校ホームページアドレス：<http://www.city.tsukubamirai.lg.jp/blog/kokinu-chu/>